

## 後期専門研修(整形外科)

指導責任者

指導医



瀧澤 勉



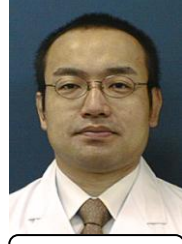
秋月 章



山崎 郁哉



堀内 博志



松永 大吾



中村 順之



望月 正孝

指導責任者	瀧澤 勉 (副院長)	1986年医籍登録
指導医	秋月 章 (院長)	1975年医籍登録
	山崎 郁哉 (整形外科部長)	1990年医籍登録
	堀内 博志 (整形外科部長)	1992年医籍登録
	松永 大吾 (スポーツ整形外科部長)	1998年医籍登録
	中村 順之 (整形外科部長)	1999年医籍登録
	望月 正孝 (整形外科主任医師)	2004年医籍登録

### 後期専門研修の例

卒後	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	上肢および外傷				脊椎				人工関節			
2年目	スポーツ整形				専門医(サブスペシャリティ)の決定							
3年目～ 4年目	*5年目の6ヶ月間は、他病院での派遣研修を行います。 専門医(サブスペシャリティ)の決定											

\*研修ローテーション順は、希望により調整を行う。

#### 【研修目的】

(1) 整形外科は、脊椎、四肢の骨、関節および軟部組織を扱い、運動器官の病理ならびに治療を行う外科臨床分野です。外傷、変性疾患、腫瘍、炎症性疾患などの診察、診断、治療を学び、実践できるようにします。また、術前術後の全身管理を行えるようにします。

(2) 4年間の専門研修で各分野をもれなくローテーションし、「整形外科専門医」の資格取得を目指します。整形外科専門医取得後は、日本リウマチ学会専門医、日本リハビリテーション医学会臨床認定医・専門医等の資格取得を目指せます。

#### 【研修概要】

卒後3年目：病歴の取り方、検査、診断、治療方法を外来診療を担当しながら習得します。局所麻酔下でのバネ指、抜釘、簡単な骨折の手術を行ないます。脊髄造影検査、超音波エコー検査手技を身につけます。入院患者を受け持ち術前術後管理が行えるようにします。

卒後4年目以降：整形外科疾患の診断、治療法を症例から身につけます。保存治療、手術治療の選択、技術の習得に合わせ外傷などから執刀医として手術を行います。稀な症例の報告、各手術法の治療成績報告などを年1回以上各種学会で発表します。

## 【術者としての後期研修実績例（2年間）】

骨折手術	150件
（大腿骨転子部骨折	38件）
（大腿骨頸部骨折	22件）
（足関節骨折	14件）
ほか	多数
関節鏡手術	131件
ばね指（腱鞘切開）	66件
アキレス腱縫合	18件
良性軟部腫瘍	17件
良性骨腫瘍	5件
ほか	多数



## 【豊富な症例数】

人工関節手術 約300例、脊椎手術 約100例、靭帯再建 約100例など年間1,000件